

「ほっとルーム」だより



第135号 令和元年11月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

生福保育所で、「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」を開設しました。10月29日に羽島保育園で、12月には、串木野小学校、旭小学校、照島小学校で「おあしす」を開設します。



9月24日(火)に生福保育所で、ほっとルームの出前サロン「おあしす」を開設しました。お子様を迎えにいらっしゃった保護者の方々が、お立ち寄りくださいました。子どもさんとの接し方やお母さん方の頑張り等をお聞きすることができました。



生福保育所の「おあしす」

羽島保育園で10月29日(火)、串木野小学校で12月4日(水)に、旭小学校で5日(木)照島小学校で6日(金)に、「おあしす」を開設します。特に、串木野小学校は、7月の「おあしす」が大雨の影響で開設できなかったもので、今回はたくさんの方のお越しをお待ちしています。

串木野小学校

○日時 12月4日(水)
(午後2時～4時)
○場所 視聴覚室

旭小学校

○日時 12月5日(木)
(午後2時20分～4時)
○場所 家庭科室

照島小学校

○日時 12月6日(金)
(午後1時30分～4時)
○場所 PTA会議室

親子で本の世界を楽しみました！

～羽島地区母親学級

羽島地区では、れいめい羽島協議会婦人部主催の母親学級を毎月第3月曜日を中心に開催しています。9月9日(月)は、羽島交流センターで、バンビの会による読み聞かせ会がありました。布絵本や大型しかけ絵本、エプロンシアターなど多彩な内容で、親子で楽しむ姿がありました。



参加した母親の声

- ママ友と会う機会にもなり、ありがたいです。
- 今日は、親子で楽しみました。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム： 教育委員会 社会教育課内
TEL:21-5130 FAX:36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

県の相談機関
かごしま教育ホットライン24
TEL:0120-783-574 (携帯電話はつながりません)
TEL:099-294-2200



がん患者が伝える「いのちの授業」～市来小家庭教育学級～

「あなたは死ぬために生きているの？」と言われて！

市来小学校家庭教育学級「さざなみ学級」は、9月13日（金）、講師に「がんサポート鹿児島」の理事長三好綾先生をお迎えし、「いのち」について学習しました。

子どもが生後8ヶ月の時、ご自身が乳がんになり、摘出手術を受ける事になり、「子どもの世話をどうしよう」「子どもにどう伝えよう」といろいろ考え、入院中は引きこもり状態。

その時、先輩に「乳がんで失ったのは乳房ひとつだけよ」「あなたは、死ぬために生きているの？」と言われ、「生きることは、人のために生きること」と考えが変わり、命の授業をするようになりました。最後に「がんの知識」と「命の大切さ・周りへの感謝」は、どちらも大切な事を話されました。明るい笑顔が印象的な三好さんでした。



学級生の声 ○ 自分と重ねて考え、このような所(サポート鹿児島)の存在が心強い。命の大切さについて、子どもとも話そうと思う。

進んで勉強する子どもは、どうして育つ？

～生福小学校家庭教育学級～

生福小学校家庭教育学級「たちばな学級」は、9月10日（火）に、社会教育課の瀬戸山先生を講師にお招きし「家庭学習の在り方」について学習しました。



本来、知的好奇心に溢れている子ども達に「やる気を起こさせる」言葉かけや家庭学習の習慣化の大切さ等を話されました。

「100点だったよ」⇒「100点だったんだ」
⇒「100点だったんだ。すごい」
⇒「100点だったんだ。すごい。ママうれしいよ」

お母さんたちは、うなずきながら熱心に聞いていらっしやいました。

参加したお母さんの声 ○ 子どもの叱り方、言葉かけについて、考えさせられました。子どもの気持ちになって、言葉かけをしていこうと思います。
○ 「勉強しなさい」と言うのではなく、子どもが自分で時間を決めたり、子どものやる気を引き出せるような声かけができるようになりたい。



「まつぼっくり」によるお話会

～市来小学校～

市来小学校の読み聞かせグループ「まつぼっくり」は、学期1回のお話会、毎週月曜日の朝の読み聞かせ、夏休みの緑陰読書等の活動を行っています。

10月7日（月）の昼休みは、読書週間にちなんで、読み聞かせ会がありました。「まつぼっくりの歌」に続き、大型絵本「もりのかくれんぼう」、ペープサート「ねずみのよめいり」がありました。子ども達は、お話の世界に浸っていました。



会員の声 ⇒ ○ どの学年の子どもも、瞳をきらきらさせて聴いてくれるので、うれしくなります。